

| 質問順位 | 7 | 質問者 | 安樂 良幸 議員 | メモ |
|------------|---------------------|--|----------|----|
| 件名 | 項目 | 要旨 | | |
| 1. 市長の基本姿勢 | 1. 滝川駐屯地の支援について | 1. 滝川駐屯地が創立され今年で70周年を迎えた。この間、国の防衛や災害派遣、国際貢献等多様な任務を遂行しつつ、本市の経済発展及び地域の民生安定などに多大な貢献をしており、今後も本市にとって不可欠かつ重要な存在（組織）であると痛切に感じるところです。 近年の日本を取り巻く不安定な安全保障環境に鑑み、陸上自衛隊の改編が進み、平成31年には滝川駐屯地に所在する第10普通科連隊が、第10即応機動連隊に増強改編され、本市も人口の増加や付帯施設の建築による経済効果などの恩恵を受けています。 そのような滝川駐屯地を地域として支援できないかを関係諸団体などと協議し、近傍に火薬庫（弾薬庫）が欲しいとの部隊側からの要望も踏まえ、日本一の自衛隊協力会を自負する滝川市として、火薬庫（弾薬庫）誘致の要望活動を防衛省に対して行うべきと考えます。併せて、このことにより本市におけるさらなる経済効果や若干の人口増加も期待できます。市長の見解を伺います。 | | |
| 2. 建設行政 | 1. 令和8年度以降の住宅施策について | 1. 今年度まで子育て世帯の支援、定住化の推進及び地域経済の喚起を狙いとして、住宅新築・改修促進事業を実施し、一定の成果を収めてきたものと思います。しかしながら近年の建築資材や労務単価の高騰に鑑み、新築住宅建設の需要が減少し、中古住宅を大規模改修して取得する若年層が増加傾向にあります。 次年度から新たな「滝川市住生活基本計画」が施行されるようですが、今後、市として住宅施策をどのように考えていくのかを伺います。 | | |